

京都経済同友会 平成23～24年度活動方針(事業組織・計画)

目的

本会は、日本経済の進歩と成長に寄与するとともに、地域経済の振興発展に貢献することを目的とし、それに資する経済人のあり方を探求する。併せて会員相互の啓発向上と親睦をはかるものとする

活動方針

本会は経営者の方などが個人の資格で参加し、会員間で一企業や特定業種の利害を超えた視点から自由で闊達な議論をつくり、実現可能な政策提言を行う

- 具体的には ①経済・社会問題に関する資料収集、調査・研究と、それらの問題についての審議、建議並びに政策実現に向けた関係者との論議
 ②国内外の経済界、経済団体等との交流及び協力
 ③会員相互の啓発向上と親睦を図るための事業 ほか

基本姿勢

- ① 談論風発・自由闊達な議論の場づくり
- ② 経営者集団としての地道な自己研鑽の機会づくり
- ③ 実践する同友会、存在感ある同友会としての着実な活動への取り組み
- ④ 同友会の本質を改めて考える場づくり

総務部会

- 会員の資質向上と同友会活動への当事者意識の涵養を図り、会員にとっても意義ある活動を実現し、本会の活性化に努める。
- 会員の入会審査、積極的な広報活動、本会精神の普及・啓発、財務・資産管理、事務局のさらなる活性化等を重点に取り組む。
- ホームページ刷新プロジェクトの発足

例会部会

- 日本の現状とその将来を考えるための重要テーマをシリーズ化(1シリーズ3回程度)して開催し、個々の問題に対する会員の理解と認識を深める。
- 他の部会・研究委員会との共催例会の開催や、研究成果の発表も組み入れる。

交流部会

- 京都経済同友会会員同士の交流を深めるため、二カ月に一度、少人数による交流会を実施する。
- 関西経済同友会合同懇談会、西日本経済同友会大会、全国経済同友会セミナー、海外視察団の派遣等へ幅広く参加者を募る。(神戸・仙台経済同友会との交流懇談会も実施する)

北部部会

- 年間1～2回程度、京都企業の経営者を講師とした経営セミナーを開催する。
- 府北部地域の産業振興とインフラ整備について、今一度、調査・研究・提言活動を深める。(北部振興に関する提言や中期的ビジョン策定を検討する)

青年政策研究部会

- 経営哲学の構築のため、各界の第一線で活躍されている方々の講演を通じて会員が切磋琢磨しながら成長する場とする。
- 平成24年に当部会発足20周年を迎える。その中ではぐくまれたよき伝統を継承・発展させる。

「ハピネス」特別委員会

- 我が国の人々が感じる「幸福」について、経済学、社会学、心理学の観点から研究を深めるとともに、北欧などの幸福度が高い国の政治・経済・社会の現状を精緻に分析し、人々が幸福感をもつことができる社会や経済の在り方を検討する。

「大学のまち・京都」を考える特別委員会

- 「京都型産学公就職支援機構」につき、他の経済団体、大学、行政等との論議を重ね、具体化の道筋を考える。
- グローバル時代において、京都がプレゼンスを高めるための一環として、留学生が勉学・研究に打ち込める環境の整備推進を取り上げる。

経営問題研究委員会

- グローバル化の進展のもと、急成長する東アジア新興国経済を日本経済の成長戦略の中にどう取り込むかを考える。
- 講師選定には、新興国で先進的な事業展開を進めている経営者を中心に、実践的な委員会とする。

都市問題研究委員会

- 継続して良好な景観のための「無電柱化」や、「リニア新幹線問題」について取組む。
- 「国際観光都市・京都」を機能面から検証し、観光客がより快適に移動できる交通システム及び都市装置の研究を行う。
- 災害に強いまちづくりのため「京都版BCP」を検証。

新公益法人制度対策チーム

- 平成25年度11月末を期限とする本会の「一般法人」への移行対応について、認可申請決議は平成24年1月開催の臨時総会で承認を受け、本年度中に申請を行う。

まつり創生プロジェクト

- 来年10回を迎えるにあたり、新しい京都の祭りとして定着してきた「京都学生祭典」の開催について、当会としての関わり方を再検討する。

教育懇話会

- 「京都教育懇話会」の活動を側面的にバックアップするため、同懇話会が主催するフォーラム、勉強会への参加などに尽力する。

サマーセミナープロジェクト

- 本年度より、本会の原点である会員の相互啓発を図るため「サマーセミナー」を実施。活発な議論を通じて見識を高めるとともに、会員同士の相互理解を促すことにより、本会の活性化を促進する。

京滋奈代表者懇談会

- 京都・滋賀・奈良3経済同友会の代表幹事による意見交換会の場。
- 本年度は本会の担当で京都にて開催する。

都市問題懇談会

- 本会活動の発展と「活力ある京都づくり」をめざす観点から、京都府・京都市の各トップや幹部との意見交換や情報交換を行うことを目的に設置する。

全国経済同友会地方財政改革推進会議

- 平成23年3月の東日本大震災発生により、第3期活動は、震災復興部会を編成し、「IPPO IPPO NIPPONプロジェクト」活動を展開する。

企業幹部研究会

- 正会員企業の中堅幹部を対象とする「準会員」で構成。事例研究発表会、企業訪問や宿泊による多彩な取組みを行う。
- 本会主催の各研究委員会等にも積極的に参画する。

事務局

【運営方針】 「会員一人ひとりの皆さんが、京都経済同友会に入会してよかった！」と実感できる同友会活動の創造

- 【行動指針】
- (1) 社会的使命の実践 京都経済同友会のミッションステートメントに共感し、実践することで地域経済の振興発展に貢献します
 - (2) ハートワーク 誰に対しても、何事に対しても謙虚に耳を傾ける「素直な心」を実践します
 - (3) フットワーク 「現場・現物・現実主義」に徹し、現状を的確に把握し、機敏な行動で周囲の信頼を築きます
 - (4) ヘッドワーク 業務遂行能力を高めて、「仕事のQ・C・D向上」に努めます
 - (5) チームワーク 時宜を得た「報連相」を徹底し、協働意識の向上に努め、共通目標の達成に全力を尽くします